

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



3月も間近というのに、まだまだ寒さが厳しい日が続きますね。そんな寒い日はお鍋が美味しいですね。主婦としては、毎日の献立

に苦労しますので、そんな時には、お鍋にすると家族は喜んでくれます。最近では、トマト味とかカレー味のタレが販売されているので重宝しています。

あなたのお宅の鍋のマイブームは何味ですか？

さて、今まで「やすらぎ通信」を読んできださり有難うございます。今月から「やすらぎ通信」が新しくなっているのスタートです。

お鍋のルーのようにバリエーションが豊富な記事をお届けできるように、と考えておりますので楽しみにお待ちしておりますね！

では、新やすらぎ通信のスタートです。

意外な話が続出！

大工さん、協力会社、販売業者の方達との合同新年会を行いました。

普段はご挨拶を交わすだけの方達とテーブルを囲み賑やかに歓談。

てっきり独身だとばかり思っていた方が2人の子供さんのパパだったり、たまに早く帰宅すると、居場所がなくて居心地が悪くて……等など意外な話が続出！

お料理も、お店の雰囲気もステキ！とは言えなかったけれど、和気あいあいと予定時間を超えてオーバー。

日頃お世話になっている皆さんと心を合わせ、厳しい現況を乗り越えたいと思います。

日頃の感謝の気持ちを込めて、皆さんにバレンタインデーのチョコレートをプレゼントしました。皆さんに大変喜んでいただきました。



今回は、生画像は掲載できませんので、次回のお楽しみです！

主人は私よりも大切なものが・・・

水は冷たくないか？

餌は食べてるか？

部屋は寒過ぎないか？

地震の際は「メダカ大丈夫？」

主人はメダカを飼っていますが、超過保護。

私の事は、全然心配してくれません。

これって有りですか？



一粒のブドウ

2月になると思い出す、ちょっといい話をシェアさせてください。

私は、ブドウを食べる度に思い出す話があります。ある不治の病にかかってしまった子供の話です。

その子は1歳の頃から入退院を繰り返し5歳になりました。

もはや手のほどこしようもなく終末看護の病棟、ターミナルケアで年を越そうとしていました。主治医のお医者さんがその子の父親に言いました。

「もう、なんでも好きなものを食べさせてあげてください・・・」

お父さんはその子に聞きました。「なにか食べたいものはあるか？」と。その子は小さな声で言いました。

「お父さんブドウが食べたいよ」

季節は冬、どこにもブドウは売っていません。

死を目前にひかえた愛するわが子の小さな望みを叶えてあげたい。

父親は東京中を探しまわりましたが、何処にも売っていません。最後に立ち寄ったデパートのフルーツ売り場を訪ねました。

「あの・・・ブドウは置いていませんか」

祈る気持ちでたずねました。

「はい、御座います。」

信じられない思いで、店員さんの後をついていきます。しかし、お父さんは立ちすくんでしまいます。その箱には3万円という値札がついていたのです。入退院の繰り返しで、もうお金もありません。悩みに悩んだ末、お父さんは店員さんに頼みました。

「一粒でもいい、二粒でもいいから分けてもらえませんか。」事情を聞いたその店員は、黙ってその箱から数粒の巨峰を取り出し、小さな箱に詰め、丁寧に包装し、お父さんに差し出しました。

「どうぞ2千円でございます」。

震える手でその箱を受け取ると急いで病院に飛んで帰りました。

「ほら、お前の食べたかったブドウだよ」

女の子はやせた手で、一粒のブドウを口に入れました。

「お父さん、おいしいね。本当においしいよ」

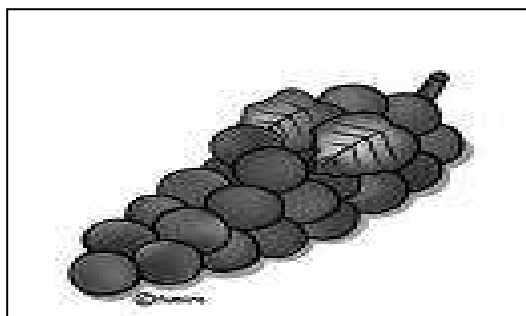
その子は、ほどなく息を引き取りました・・・。

この話は、聖路加病院に入院していた子供と、高島屋の店員さんの実話です。

今年も厳しい年になりそうですが、愛する家族の為、仕事の仲間たちの為、命があることに感謝し、思いやりの心で進もうと思います。渡辺ハウジングを支えてくださる大工さん、協力会社、販売業者の方達にも感謝・感謝です！

何より、私どもで家を建てていただいた皆さんともご縁を大切にしていきたいので、今年もよろしくお願ひいたします。

これからご縁ができる皆さんとの出会いにもワクワクしています。



「編集後記」

今月の「やすらぎ通信」はいかがでしたでしょうか？

できるだけ本音で書いていきますのでご意見をいただけるとうれしいです。

メールは info@ysrg-wh.com 。

FAXは03-3959-8797まで。

狭小住宅でちょっとは有名？になった渡辺ハウジングですが、新たに「木材が通気する長期優良住宅仕様のスマートハウス」『エコ民家』という家を新たに当社の主力商品に加えました。

興味のある方は、ご一報下さい。

更に、スマートハウスには欠かせない太陽光発電のことがわかる「電気で160万円得する方法」の冊子（PDF）を無料でプレゼントしますので請求してくださいね。

さて来月号は・・・？

編集責任者：渡辺 田鶴子

電話：03-3959-8743